



四 気 折 々

四気＝川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

川越町立川越中学校
学校だより 第31号
平成30年2月21日

今まで通り、しっかりと！

17日（土）放課後、16日（金）までに進学先を確定した3年生に向けて、私と第3学年担当教員が、まずお祝いを述べ、次に、その場に居合わせることができなかったクラスメートの悔しさ・辛さ・悲しさを知ったうえで、卒業式までの14日間を今まで通りしっかりと臨んでほしいと伝えました。また、私は、3月12日（月）の三重県立高等学校入学者後期選抜に向けて、第3学年155名＋9名全員が一丸となって取り組み、3月19日（月）の合格発表を155名＋9名の笑顔で迎えたいという趣旨の話を聴いて、第3学年担当教員の熱い想いに触れることができました。悔しさ・辛さ・悲しさを払拭できず、不安を抱えている3年生は、熱い想いを抱った頼もしい第3学年担当の先生を頼ってください。あなたを支え、見守る強い味方なのです。

なお、第3学年担当をはじめ教職員一同、お子様をバックアップしてまいります。保護者の皆様にも、お子様はまだまだ不安な15の春を過ごすことになりますので、お子様に寄り添い、安心できる大人の一人でいていただくようよろしくお願いいたします。



言葉に魂が宿る！

本年度最後の土曜授業で、PTA家庭教育部主催のPTA家庭教育講演会を、落語家である 三代目林家菊丸さんにお越しいただき、開催いたしました。保護者の皆様をはじめ、学校関係者や教育委員会の方々、そして、川中生や私たち教員に向けて、「落語家の弟子修行裏ばなし」という演題で、キャリア教育に係るご講演をいただきました。

ご講演の要旨は、以下のとおりでした。

弟子修行の際に、①「気」を読む ②「気」を配る ③「気」を入れる ということがとても重要であることを知りました。また、好きなことに専念することはよいことですが、好きなことだけをすればよいというものではないとも語られました。

なお、ご講演の最後には、「時うどん」を演じていただき、会場内の観客である私たちは、その面白さに腹を抱えて笑わせていただきました。また、2名の川中生に羽織を着せていただき、扇子や手ぬぐいを使って、落語での所作等を教えてくださり、会場内はより一層和やかなムードになりました。

林家菊丸さんから魂を込めた一言一句を私たちの心に届けていただくことで、落語のすばらしさと至福の時を感じることができました。誠にありがとうございました。

